

数学

北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文・教育・法・経済・医（保健・看護・作業）】

<全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

解答形式

全問記述形式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

昨年よりはやりにくい問題・設問が減ったが全体として大きな変化はない。

出題の特徴

今年も理系との共通・類似問題（**2**）が出題された。

その他トピックス

数学I、数学Aの分野の問題がほとんどなく、偏った出題になった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	数列	数学B	「和と一般項の関係」を利用して一般項を求め、「部分分数分解」により和を求める典型問題。ぜひ完答したい。	やや易
2	平面ベクトル	数学B	難しくはない問題だが「直線に関する対称点」の処理ができたかどうかのカギ。	標準
3	三角関数	数学II	指示された置き換えをして、出てきた2次方程式を解くのだが、2次式にするまでがやや難しい。	やや難
4	微分法・積分法	数学II	「面積計算」と「最大値を求めるための微分計算」を行う典型問題。これもぜひ完答したい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

最近の北大の入試問題と比較すると、今年は完答できる問題が増えたため、例年より得点しやすく感じただろう。しかし、典型問題であってもある程度のレベルより上の問題が出題されているため、合格するためにはきちんとした学習が必要となる状況は変わっていない。標準レベルの入試問題演習を学習の中心とし、ややレベルの高い問題まで手を広げて対策しておきたい。